

学校だより

小川中学校

No. 23

平成26年 11月27日

文責：校長 佐藤正則

弁当づくりを通じて学んだ感謝 ～第1回ふれあい弁当デー実施～



11月14日は、本校の「ふれあい弁当デー」でした。この活動は、今年度からいわき市教育委員会の食育推進事業の一環として、市内すべての小中学校で取り組むことになっていて、家族と一緒に自分の手で弁当をすることにより、みんなで「食」について考えるとともに家族と過ごす時間の心地よさや大切さを実感する機会にしようというねらいで行われるものです。

この日は、多くの生徒がいつもより早く起き、家族と一緒に弁当づくりをしてきました。家庭科の調理や栄養士を招いて勉強した知識を基に自分の弁当をこしらえた生徒や、事前に献立を話し合い、一緒に買い物をして、当日、一緒に調理した生徒、作ってもらったものを自分で盛りつけた生徒、感謝の気持ちを込めて空になった弁当を洗った生徒など、取り組み方は様々でしたが、弁当づくりの大変さを知り、感謝の気持ちを強くするなど、とてもよい勉強の機会となりました。また、おうちの方にとっても、話し合ったり、一緒に作ったりすることを楽しんでもらえたようです。

自分が何らかの形で関わった弁当を食べるこの日の時間は、味わいもひとしおだったようです。

生徒感想（1年男子）

ひと品作るのも大変だったのに、朝、とても早起きして、こんなにおいしいお弁当を作るのは、とても大変だったと思います。感謝したいです。

生徒感想（1年男子）

お弁当づくりは、献立を決めるのに家族でいろいろ話し合ったりして、とても楽しいことが分かりました。これからは、少し手伝ってあげたいと思いました。

保護者感想（1、2年）

- ・親子の会話の時間が増え、いい機会だったと思います。
- ・これからも楽しく、一緒に献立を考えて料理を作りましょう。
- ・朝早く起きて作っていました。えらいです。

1年生・ダンス披露



11月20日の1時間目の体育の時間に、1年生がダンス授業のまとめとして、習ったダンスを3曲披露しました。

保護者の皆さんには、事前にお知らせしたところ、20数名の方が見学に訪れました。有難うございます。保護者の方が見られるということで子どもたちも一層張り切って踊っていました。

完成度はまだまだですが、楽しんで踊っているのが素晴らしいと思います。



見学に訪れた保護者の皆さん
生徒と一緒に踊る姿も！

100日達成

遂にやりました。生徒会の長年の目標だった無遅刻連続日数「100日」に、11月26日達成しました。いろいろなことがある中での達成ですから、とても価値あることです。

生徒会役員、週番委員会のリーダーたちの頑張りのお陰ですね。



進路情報

3年生は、現在、私立高校受験（専願、併願）と県立I期選抜、福島高専受験希望がほぼ決まり、願書の準備をしているところです。

また、人生で初めて経験する面接に臨むための指導に入りました。



ワンプロカードで生活向上を！

3年前から、いわき市中学校生徒会長サミットでは、東日本大震災で世界中からいただいた支援への感謝と復興の力強さを示すことを目的に、タイの山岳地帯の子どもたちに、学校をプレゼントする「ワンコインスクールプロジェクト」に取り組んでいます。毎年、一人500円を目標に募金して学校を建てる活動です。

これは、「単にお金を寄付する」活動ではありません。自分たちが、震災に負けずに目標を持ってしっかりと生活していることを示す活動です。ですから、自分なりの目標を掲げ（ワンプロカード）、それが達成できたら、達成できた喜びを「ワンコイン」として寄付するものです。目標額は、171人×500円の85,500円です。これも無遅刻連続日数と同じように、達成させたいと思っています。



